

平成29年度
学校関係者評価報告書



学校法人 トヨタ名古屋整備学園
専門学校 **トヨタ名古屋自動車大学校**

I. まえがき

学校法人トヨタ名古屋整備学園 専門学校トヨタ名古屋自動車大学校では、平成25年3月に文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、本校全般の運営(経営、教育活動、財務、法令遵守、社会貢献等)について、平成29年度の現状を自己点検・評価して更なる改善・向上に取り組むとともに、自己評価報告書に基づき学校運営に關係の深い団体・企業様、保護者の方々のご意見を幅広くお伺いし、今後の学校運営や教務各般に反映させるために「学校関係者評価」を実施し、今般、報告書にとりまとめました。

学校関係者評価委員の方々のご意見・ご指導を賜りながら、職員が一丸となって改善を図り、今後も教育水準の向上に努めてまいります。

II. 学校関係者評価委員会の開催概要

1. 日時

平成30年7月6日（金） 10:00～13:00

2. 場所

トヨタ名古屋自動車大学校 1号館 特別会議室

3. 学校関係者評価委員会 評価委員（敬称略）

委員名	所 属 等	備考
松野 来	トヨタ自動車株式会社 国内サービス部 総括室	委員長
宮崎 稔	清須市企画部 部長	
青山 隆明	ネットトヨタ名古屋株式会社 サービス部 部長	
神田 忠俊	当校高度自動車科生の保護者	

（学校側出席者）

氏 名	所 属 等
川口 浩二	理事・校長
水谷 伸彦	理事・管理部長
中村 雅彦	理事・教育部長
山元 俊之	管理部 室長
仙田 佳彦	管理部 GM（事務局）

III. 委員会次第

1. 開会

2. 校長挨拶

3. 学校関係者評価委員の紹介

各評価委員の氏名・所属及び委員長に村上委員を学校側が委嘱

4. 学校概要説明（パワーポイント）

5. 校内視察

建物、教場・教材、実際の授業等の見学

6. 昨年のご指摘事項と改善事項をご説明

7. 平成29年度自己評価報告書の説明及び意見交換・質疑応答

8. 閉会

IV. 昨年のご指摘事項と改善事項のご説明

昨年のご指摘事項とその実施事項について、評価委員の方々へ、資料に基づいてご説明し、ご了解とご意見をいただいた。

①昨年のご指摘事項と改善事項

(ご指摘事項)

メカニックがストール周りの事故が多いので、現場を意識した安全点検を授業に取り入れて欲しい。

<実施事項>

- ・高度科3年次4月に実習場ストールへの車両出し入れについて要領をレクチャーし、運転及び誘導を実施。以後、実習作業での試運転や実習場準備などで随時車両移動を実施。
- ・整備科は1年次(体育の裏)で、スラローム運転などに加え車庫入れを実施。
以後、校内走行確認時の走行で運転を実施。
- ・整備科はクラッチ授業時に現象確認と合わせて半クラッチ操作などを実施。
- ・全科とも、4月のテストコース完成に伴い運転機会増加。ただし、普通運転免許保有者。

(ご指摘事項)

ITツールを取り入れた業務教育を実施して欲しい。

<実施事項>

- ・全科ともai21を改良しSMBの概要を履修。
- ・高度科、女性SS科はai21及びSMBについてインターンシップ[®]で受入れ会社に依頼し実施。
- ・女性SS科でタブレット活用の商品説明などインターンシップ[®]で受入れ会社に実施を追加依頼。
また、現場活用状況を確認し実施要領を検討する。

(ご指摘事項)

防災訓練時に清須市のハザードマップを学生に周知させて欲しい。

<実施事項>

- ・H29.11.7の緊急地震速報訓練時に、近隣ハザードマップ[®]についてクラス担任より全学生に展開。
- ・職員室、事務室の他、学生掲示板に掲示。
- ・ハザードマップ[®]の掲示を継続し、また、防災訓練時などの防災啓蒙時に都度展開。

②実施事項に対する評価委員からのご意見・ご質問

- ・インターンシップ後の学生の感想を販売会社へフィードバックしてほしい。
- ・ITツールの配備状況は店舗によってバラツキがある為、高度科インターンシップの教育に必要なガイドラインを作ってほしい。
- ・整備科の接客応対について、整備後の説明等がなかなかできない方が多いので、さらなる充実を図ってほしい。

V. 学校関係者評価

1. 実施方法

学校側より平成29年度の自己評価について、自己評価報告書を使用して基準1～基準10まで一項目ずつ達成状況、課題、改善事項等について報告し、各々の項目について評価委員よりご意見をいただいた。

なお、自己評価報告書の説明を事前に実施し、内容の理解促進を図った。

2. 評価結果

《基準1 理念と中長期計画》

(1) 自己評価結果

①総括と課題

基本理念や教育理念は、機会あるごとに、書類、ホームページなどにより学内外に提示している。ご指摘をふまえ平成27年4月、設置学科4科について見直した。

特徴とする技術教育と人間性教育は十分な知識を有する教員が主導し、教育理念とも整合性がある。教育内容も就職先企業への定期ヒアリングなどにより適時見直されている。

②今後の改善方策

特に無し。

(2) 学校関係者評価結果

①評価委員からのご意見・ご質問

特に無し。

《基準2 学校運営》

(1) 自己評価結果

①総括と課題

運営方針、事業計画は、毎年定めている。項目ごとに経営会議で方向付けがなされ、議案に応じて決裁制度（平成11年策定・平成21年以降随時改定）に基づき、学内稟議を経て校長決裁を行う。業務分掌も整っている。また、決裁制度について、ラミネートした資料を管理職へ配布し徹底を図っている。

また、経営会議内容を、運営会議・各部会議で展開している。

計画に基づき学校運営に必要な人材を育成しており、人事評価システムも人事評価表と個別面談により確立している。また、評価に伴う給与体系を規程集（就業規則などを記載）に定め、職員に周知している。

教員採用は計画に準じて行い、事務員は欠員時に補充している。

②今後の改善方策

新任の管理職への決裁制度に対して説明の継続実施していく。

(2) 学校関係者評価結果

①評価委員からのご意見・ご質問

特に無し。

《基準3 教育活動》

(1) 自己評価結果

①総括と課題

基本理念などが明確で、展開も適切といえる。年度ごとの目標は業界のニーズを加味し、毎年教育部方針として作成している。

授業の運営にはシラバスを作成しており、シラバスの統一性を確保する

ため教科予定・実績表にシラバス欄を付加した。また、学生による授業評価を実施し、都度フィードバックし、改善している。

カリキュラム編成において、1・2年、3・4年、車体整備専攻科、女性ショールームスタッフ科毎に担当者が明確になるよう、27年度の職制表で改定。一種養成基準を大幅に上回る授業時間数により専門教科に加え、資格取得、実践的な職業教育も学外ヒヤリングを実施している。教員育成も[人財育成委員会]によって計画的に実行している。

成績評価・単位認定は学則基準に基づき、会議で客観的に審議している。業界ニーズを反映出来るよう、意見交換の対象会社、地域を適切に選定し、今後も継続的に実施していく。

②今後の改善方策

特に無し。

(2) 学校関係者評価結果

①評価委員からのご意見・ご質問

特に無し。

《基準4 学修成果》

(1) 自己評価結果

①総括と課題

学生教育、就職、資格取得、出席率・退学率の目標達成度は、部方針によって定めた目標と実際の結果(数値など)を比較することで行っている。

退学者低減のため、コミュニケーションを重視した学生の指導を木目細かく継続実施している。

欲向上活動を実施して、退学率低減、出席率向上を図っている。

卒業生評価は、販売会社懇談会での聞き取り実施、卒業生アンケートを隔年ごとに行い、それらを教育カリキュラムに反映している。

明確な表彰基準に従って校内表彰も行っている。

②今後の改善方策

更なる退学者減に向けて、方策を講じ続ける。

一級合格率向上にむけて対策授業の見直し実施。

(2) 学校関係者評価結果

①評価委員からのご意見・ご質問

既卒者の一級不合格者の対応は、今年もされるのですか。

②学校側の対応

今年も、各地域毎で実施します。また、1級合格者数向上に向けて、更なる対策授業を実施いたします。

《基準5 学生支援》

(1) 自己評価結果

①総括と課題

就職指導・学生相談に関しては、就職専任職員と各クラス担任、更に、

遠方出身学生については、府県別の担当職員も加わって、アドバイス・相談を行うサポート体制となっている。

経済的な支援体制や健康管理面の支援体制についても、全体的に整っており、課外活動に対しても充実した学校生活を送れるようにしている。

適宜、学生相談に関する満足度調査を実施し、その結果をもとに改善策を立案している。今後も継続して実施したい。

②今後の改善方策

留学生担当者表を職制表と照らし併せて、毎年更新する。

(2) 学校関係者評価結果

①評価委員からのご意見・ご質問
特に無し。

《基準6 教育環境》

(1) 自己評価結果

①総括と課題

施設・設備や教材については設置基準をクリアしている。また、学生寮やグラウンドなど学生生活を更に充実させるための諸設備は充実しており、更新・保全計画に基づいてメンテナンスされている。学外の企業や教育機関との連携も目的を持って実施している。

防災・安全部においても、法基準とも照らし合せて、充分な体制を整えつつ、訓練も実施している。

また、安全教育も授業に盛り込み、保険や緊急マニュアルも備わっている。他校の保険加入状況を確認し、現行加入保険の検証を実施し、新たに寮生の家財保険と個人情報漏洩保険へ加入了。

オカナガン大学との契約書が必要との自己評価について、契約書を作成し、平成27年5月に契約を取り交わした。

②今後の改善方策

特に無し。

(2) 学校関係者評価結果

①評価委員からのご意見・ご質問
清須市のゲリラ豪雨対策の水害対策ガイドマップを学生に説明をしてほしい。

②学校側の対応

地震災害（危険度、震度、液状化）のハザードマップを各掲示板に常時掲示に加え水害対策のガイドマップを各掲示板の掲示と学生に説明の実施をします。

《基準7 学生の募集と受入れ》

(1) 自己評価結果

①総括と課題

学校案内については当校ホームページ、パンフレット、募集要項を用いて具体的に分かりやすい内容を掲載し希望者には無料で配布している。

学生部募集グループを専用窓口としていると共に、府県別募集担当職員も

設置し、高校訪問による説明やオープンキャンパス、各地区における説明会など、直接接する機会を設けている。また、個別の相談会も毎回必ず設け、志願者が理解しやすい体制となっている。入学選考については、選考基準を設定し、適正かつ公平に選考を行っている。学納金については、実習内容・施設・教材を含め適時、妥当な内容となるよう見直しを行っている。他校との比較も行い適正水準を考慮したものとなっている。

ただ、広報活動において自動車整備への関心を高められる活動の継続的に展開する。

②今後の改善方策

募集パンフレットやホームページに掲載のデータや教育内容は、引き続き正確な内容を記載しながら、学校の内容のみならず、自動車整備の魅力について今以上に最新の学校情報や自動車への興味喚起などトピックスを発信する。

(2) 学校関係者評価結果

①評価委員からのご意見・ご質問

特に無し。

《基準8 財務》

(1) 自己評価結果

①総括と課題

過去の収益データと見比べながら、今後の収益見通しを予測し、年度末収支予測、収入支出のバランスを確認しながら、予算業務を行っている。年度予算は、予算会議にて実施要件を確認し、予算額が決定される。予算執行は、年度予算額を確認しながら行い、実績がオーバーする場合には、他の科目予算から科目変更の可能性を経営会議で方向付けしている。翌年度の5月上旬に公認会計士によって、適切に監査が行われている。財務についてホームページで毎年更新して公開している。

②今後の改善方策

特に無し。

(2) 学校関係者評価結果

①評価委員からのご意見・ご質問

特に無し。

《基準9 法令等の遵守》

(1) 自己評価結果

①総括と課題

専修学校設置基準と国土交通省の設置基準に準じて、管理職が周知しており、学校運営が実施されている。必要書類は保管期間、責任部署が明記され、内容に準じて保管している。危険物などに関する事柄に関しては、教員研修を実施している。

個人情報は、使用目的が学生配布のキャンパスナビに明記され、個人情報の取り扱いに関する質問、苦情対応なども担当窓口が明記されている。

自己点検・自己評価を基に、学校関係者評価を実施、評価内容をホームページで毎年更新して公開している。

②今後の改善方策

今後、所轄官庁様の要請を勘案しながら、JAMCAで検討している。
第三者評価を受けることを検討中。

(2) 学校関係者評価結果

①評価委員からのご意見・ご質問
特に無し。

《基準10　社会貢献・地域貢献》

(1) 自己評価結果

①総括と課題

学校施設（体育館等）の貸し出しや学校周辺の清掃活動、交通安全活動など各活動の位置付けを明確にし、ボランティアを活発かつ持続的に行っている。また、教育部の組織としてボランティア委員会が設置しており支援体制もできている。平成28年度も引き続き、1年生全員対象の学校周辺の清掃活動を実施した。

当校のオリジナルである自動車の技術教育を企業、児童に対して提供している。

地域の支えがあつての学校という観点から、引き続き地域貢献活動は更に積極的に実施したい。

②今後の改善方策

特に無し。

(2) 学校関係者評価結果

①評価委員からのご意見・ご質問

清洲市では、市民の意見を聞いて街づくりをしている。学生も魅力づくりの意見聴取にご協力を願いしたい。

②学校側の対応

ご要望があれば、学生に展開に参加できるようにいたします。

《終わりに》

学校関係者評価委員の皆様から大変参考になるご意見を頂戴致しました。インターンシップ後の学生からの感想のフィードバックの徹底や整備後説明ができない学生への教育を実施していく事や販売会社で使用しているITツールを利用した業務教育ができる環境整備について等、ご指摘いただいた点は、早急に対応策を立案し、実行してまいります。

以上